

船橋市民野球大会規定

令和2年4月1日

船橋市野球協会

目 的 全日本軟式野球連盟規定を遵守し、アマチュアスポーツとして正しい軟式野球を市民に普及しその健全な発展をはかる。

運営について

1. 主将会議で説明されたこと、事項はチーム全員に徹底させること。
2. チーム並びにお応援団は連盟のアマチュア規定にふれることのないよう注意すること。
3. チームが球場に到着したら責任者は本部に報告する。
4. 試合開始予定時間 30 分前に本部に登録申込書及び打順表 3 部にフリガナをつけて提出 次の試合に出場するチームは前の試合の 5 回終了時に提出すること。
5. 選手の変更及び追加及び背番号の変更はシーズン初戦までは認める。2 戦目からは認めない。
6. 試合中ダックアウト（ベンチ）に入れる人員はチーム代表者 1 名、スコアラー 1 名、の他、登録された監督、選手のみに制限し、9 名以上を原則とする。
7. 試合開始予定時間になっても球場に到着せず、また特別な事情もないチームは棄権とみなす。プレイヤーが揃わない場合も棄権とみなす。
8. 先攻後攻は、4 部はチーム番号が若い方が先攻（1 塁側） 1 部~3 部はトスで決定する。壮年の部はチーム番号が若い方が先攻（1 塁側）、壮年の部のみ指名代打制を採用する
9. 球場内のフリーバッティングは禁止、トスバッティングのみ認める。ラインの外側から内側に行くこと（芝生保護のため）
10. 試合前の練習で外野芝生に入る場合 金属製スパイクは禁止とする、アップシューズを使用する。
11. 試合は 7 回戦とする。但し 1 時間 30 分 を超えて新しいイニングにはいかない。（10 分間短縮）
12. 同点の場合は直ちに特別規則を適用して勝敗を決定する。無死走者 2 塁、1 塁で継続打順 特別規則は 1 回のみとし、勝敗が決定しない場合はトス（打順）で上位進出チームを決める。
13. 攻守交替は駆け足で速やかに行い、ボールはマウンドに置いてベンチに戻ること。
14. 得点差による、コールドゲームは、3 回 15 点差、4 回 10 点差、5 回以降 7 点差で適用する。
15. 抗議権は監督、主将、当該プレイヤーに限る。
16. ベンチ入りメンバーが 9 名の場合、攻守交替時の練習は出来ません。
17. 雨天の場合（判断が困難な場合）試合時間 30 分前に集合、グラウンド状況を見て協議の未決定する。但し午前の試合を中止して、午後から行う場合もあるので大会本部からの連絡に注意すること。
18. 雨天等の日程変更は、大会本部より連絡のあった時のみとし、チームの都合での変更は認めない。
19. 大会に於いて不正を行ったチームに対する
 - ① 試合中に発覚した場合、相手方に勝利を与える。
 - ② 試合終了後に発覚された場合、次の相手チームに勝利を与える。
 - ③ 決勝戦終了後に発覚された場合は、準優勝チームを優勝とする。
 - ④ 試合に関連して、暴力行為を行った選手に対しては、その試合以降最低その年度の出場を認めない。
 - ⑤ 個々の選手の不正は、チームの責任とする。上記不正チームは最低翌年度の大会の出場を認めない。
20. 市内在住及び通勤しているもので、他協会に登録してない事。
21. ユニフォーム等の規定 背番号は監督 30 番、主将 10 番、選手は 0 番から 99 番までとし、背番号とともに

- 名前を入れる場合は性、名、のどちらかに分けて（ローマ字等）で統一すること。
- 22 打者、次打者、走者、ランナーコーチ全てヘルメットを着用すること。
 - 23 捕手はプロテクター、レガード、ヘルメット、ファールカップを着用すること。ファールカップ着用は面倒かと思いますが、事故防止の為にお願いします。
 - 24 喫煙は、各球場とも所定の場所ですること。
 - 25 止む負えず、棄権をする場合は前日までに、事務局に連絡すること。（対戦チームに大変に迷惑をかけることとなります。）
 - 26 試合終了後は、ダッグアウトの清掃、グラウンド整備にご協力をお願いします。なお、忘れ物の無いようご注意ください。
 - 27 各球場の船橋市野球協会特別グラウンドルール
 - ・市営球場 野球規則に則る。
 - ・若松公園野球場 1 塁側、3 塁側共に側溝をフェンスとみなす。但し片足がグラウンドに接地して捕球すれば正規の捕球となる。右翼の樹木の取り扱いがプレイが続けられればインプレイ、途切れればボールデットの処置を取る、フェンスより高い木に触れた場合は、審判員が超えたと判断したら、ホームランとする。左翼は、インプレイとする。
 - ・法典公園 1 塁側、3 塁側、左翼共に横たわった丸太をフェンスとみなす。但し片足がグラウンドに接地して捕球すれば正規の捕球となる。 1 塁側は丸太が切れている場所はあると仮定する。左翼の防御ネットの扱いは、丸太の外側にあるので直接当たればホームラン、間接で当たればボールデットの処置を取る。右翼は簡易フェンスをフェンスとみなす。本塁周辺上空のネットに触れた場合はファールとする。
 - ・高瀬町野球場 区域内はインプレイ ベンチの裏側に入り込んでプレイに影響を及ぼす恐れがある場合は、ボールデットの処置を取る。

試合時間切れの措置 （令和3年度に限り試合時間10分間短縮する）

1. 球審は試合開始後1時間20分を経過した時点でもしくは後半のインニングの切れの良いタイミングを見回り残り時間を両チームをに通告する。
2. 控え審判員は試合開始時間を記録して、試合時間を確認しておくこと。球審から残り時間の問い合わせがあれば残り時間を伝える。球審が気が付かないで試合を進行している場合は控え審判が時間を伝える。なお、ホワイトボードに試合開始時間と試合終了時間を表示してバックネット等に掲示する。
3. 制限時間を超えた為に試合を打ち切る場合に処置
 - ① 均等回が終了している場合は、その時点での得点差で試合を終了する。
 - ② 先攻チームがリードしている場合で先攻チームが攻撃中に制限時間を超えた場合は後攻チーム（裏の攻撃）まで継続する。
 - ③ 後攻チームがリードしている場合で制限時間が5分以内の場合はこの時点で試合を終了する。

令和3年3月1日改正
令和3年5月5日改正